



## ニュースリリース

平成29年11月15日  
国立大学法人千葉大学 学術研究推進機構 産業連携研究推進ステーション

### 国立大学法人千葉大学：株式会社リコー 「包括連携研究協力等に関する協定」の締結について

このたび、国立大学法人 千葉大学（学長：徳久 剛史）（以下、千葉大学）は、株式会社リコー（社長執行役員：山下 良則）（以下、リコー）と、組織として連携して相互の研究活動を飛躍的に進展させるための協定（「包括連携研究協力等に関する協定」）を締結しました。

#### 千葉大学とリコーが「包括連携研究協定」を締結

- 千葉大学の総合大学としての「研究力」と、リコーの「商品化・技術開発力」の有機的な連携を図る。
- 基礎・応用や人文系・理工系・医療系の壁を越えて両者のリソースを集結させることで、将来あるべき社会像等のビジョンを千葉大学とリコーが共に探索・共有する。
- 研究テーマ設定を検討段階から協働する「包括的研究テーマ」を創設し、既存の画像分野以外にも連携範囲を広げる。

#### 【内容】

これまで、千葉大学とリコーとは、画像分野を中心に数多くの共同研究・受託研究や大型競争的資金研究を実施しており、電子デバイス技術や商業印刷技術、ディスプレイなどの研究開発で多くの実績を残し、共同研究実施体制の基盤が構築されています。

今後は、千葉大学が総合大学の強みとして持つ人文社会学系・理工学系・医薬看護学系・園芸学系などの「総合研究力」と、リコーの市場ニーズを把握するマーケティング、企画、商品開発などの「商品化・技術開発力」の有機的な連携を図り、基礎・応用や人文系・理工系の壁を越えてリソースを集結させることで、将来あるべき社会像等のビジョンを千葉大学とリコーが共に探索・共有し、研究テーマ設定を検討段階から協働する「包括的研究テーマ」を創設し、画像分野以外にも範囲を広げてイノベーション創出を目指します。

そして、上記活動から創出される個別研究テーマを含め、それら複数の共同研究テーマを両者が協力して組織的にマネジメントすることにより、研究活動や研究成果創出に資する実効的な支援体制を構築し、新技術の社会実装に向けた研究開発力の強化を図ります。

## 【背景】

「第5期科学技術基本計画」や「国立大学経営力戦略」を始めとする国の政策は、各大学が産学連携を加速するための改革に積極的に取り組むことを求めており、また、経団連はそれを受けて産業界も投資や知・人材の交流に積極的に取り組むことを求めています。

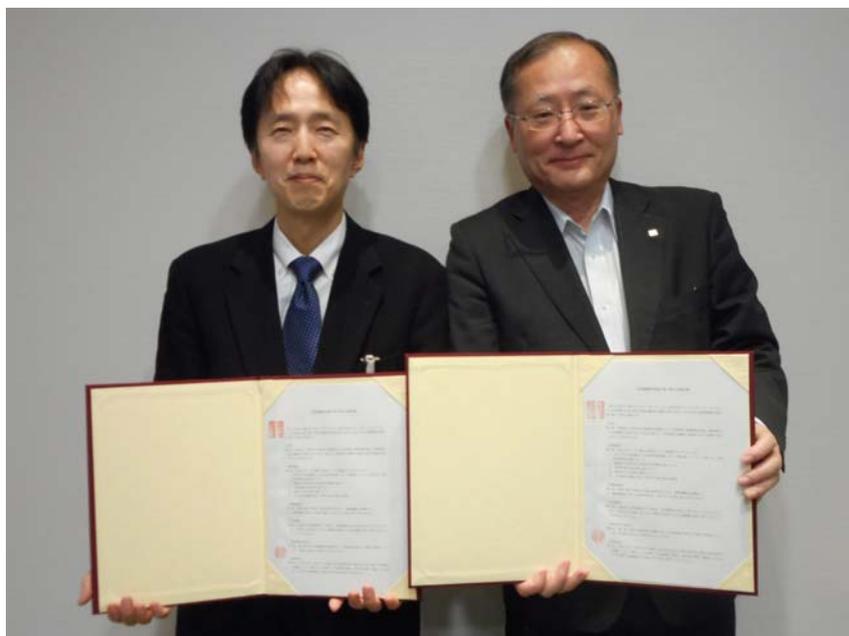
しかし、従来の産学連携による共同研究の多くは企業と研究者の個人的関係に基づく研究活動であり、当該技術分野内での深化・発展はあっても、産業界が期待する大学の高い基礎研究力や総合力を広く活用した部局横断的な研究活動に発展することは難しい状況でした。このため、「組織」対「組織」の新しい協力体制の整備が必要とされていました。

今般、相互の協力関係を強化する協定の締結により組織的に連携することで、さらなる飛躍的なシナジー効果が期待できると考えています。

## 【連携開始会談】

協定書は、平成29年11月14日（火）午後に取り交わされました。

それに伴い、千葉大学：関実理事（研究担当）（写真左）及びリコー：松浦要蔵専務執行役員（写真右）を筆頭として、包括連携研究協力等の開始に係る会談が執り行われました。



## 【参考】

千葉大学：株式会社リコー「包括連携研究協力等に関する協定」概要

URL：<http://www.chiba-u.ac.jp>

### 【本件に関するお問い合わせ先】

（千葉大学）

研究推進部産学連携課 加藤 洋介

Tel：043-290-3605 Fax：043-290-3519

E-mail：[beg3605@office.chiba-u.jp](mailto:beg3605@office.chiba-u.jp)